



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

俳句づくりに挑戦

浜松東高生 詠み方や鑑賞法学ぶ

浜松市東区の県立浜松東高で9日、俳句講座が開かれ、1年生約80人が俳句づくりに挑戦した。

明治・大正時代に活躍した俳人松島十湖を輩出した同区の「俳句の里づくり事業」の一環。市内で活動する俳

句結社「樵」の会員越川都さんら2人が講師



俳句づくりに挑戦する生徒
＝浜松市東区の県立浜松東高

を務め、俳句の詠み方や鑑賞法を説明した。生徒は自由なテーマで句をつくり「大輪の花火が咲いた夜の空」「休日の目覚まし時計セミの声」など、思った。越川さんは俳句の魅力「短くて読みやすい。はるか昔の人の思いを、わずか17音で知ることができる」と語った。

2013年7月12日朝刊 西部版

- ③記事から俳句を二句書きましょう。
そして、自分でも作ってみましょう。

- ① 俳句は何音ですか。

- ② 俳句に必ず入れるのは何ですか。

年 組 名前

(小学校高学年 国語)